

「水化学国際会議 2010 ポスター賞を受賞して」

2010年10月3日～7日にカナダのケベック州ケベック市の Loews le Concorde Hotel において開催された International Conference on Water Chemistry of Nuclear Reactor Systems (NPC2010) においてポスター賞を頂く名誉に預かることができました。発表内容は九州電力株式会社と三菱重工業株式会社の共著となる「STUDY FOR HIGHLY FUNCTIONAL RESIN (MACROPOROUS RESIN) SUPERIOR IN REMOVING MICRO PARTICLES IN PWR PRIMARY CIRCUIT : ON-SITE TEST」であり、具体的には PWR 1次系の被ばく低減のため、「マクロポーラス樹脂」と呼ばれる粒子状腐食生成物除去に有効な樹脂の実機における性能調査を目的に、川内1号機のプラント起動時・運転中・停止時の各ステージにおいてオンサイト試験を実施した結果の紹介です。

ポスターセッション中には、質問は少なかったものの、多くの方にポスターを見ていただき、参考にと準備したポスターのハードコピーが無くなる等、高い興味を示していただきました。とはいえ、受賞できるとは少しも思っておらず、受賞式で名前が呼ばれた時にも自分のこととは思わず、周りから言われてようやく席を立つといった有様でした。本賞の受賞は前回の(財)電力中央研究所の河村氏の受賞に続き、日本勢の2連覇ということで、光栄に思うと同時に次回の国際会議に向けて気が引き締まる思いです。

九州電力(株)川内原子力発電所
安全管理課 高妻芳秀

三菱重工業(株)原子力事業本部
水化学技術課 志水雄一



授賞式写真 (左から2人目：高妻氏、左から3人目：志水氏)